

建設HR総研 独自分析レポート

**土木工事業 主要10社
過去3年における決算まとめ**

ヒューマンリソシア株式会社
「建設HR」編集部



目次

はじめに … 3

2019年度3月期決算 … 4

2020年度3月期決算 … 9

2021年度3月期決算 … 14

はじめに

「建設HR」編集部では、建設業界に特化した人材動向／市場動向／未来予測などの調査・分析から、独自調査レポートやマンスリーレポート、建設DXの最新ソリューションを紹介するセミナーなど、建設業界に関わるさまざまな情報発信を行っています。

本レポートでは、土木工事業の主要上場企業各10社の過去3年分の決算資料（決算短信）から建設市場動向をまとめました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、建設業関連各社の決算はどのように推移しているのか、来期（2022年3月期）についてはどのような状況になるのか、検討する参考資料としてご利用いただければ幸いです。

2019年度3月期決算

＜土木工事業＞ 2019年度3月期第1四半期決算概況

■ 10社中5社が増収増益、好調な決算

10社のうち6社が増収増益となり、堅調な公共投資を背景に好調な決算となりました（=図表1）。

【図表1 土木工事業主要10社の2019年3月期の第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第1四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
NIPPO	80,554	101.1%	5,633	105.3%	増収増益
前田道路	48,680	100.3%	2,693	78.3%	増収減益
日本道路	31,093	115.8%	691	180.4%	増収増益
川田テクノロジーズ	26,243	110.3%	1,035	-	増収増益
ピーエス三菱	22,257	100.6%	-170	-	増収減益
東鉄工業	20,868	97.8%	657	40.4%	減収減益
ライト工業	20,837	101.1%	1,735	106.8%	増収増益
東亜道路工業	17,903	118.8%	-870	-	増収減益
世紀東急工業	13,250	127.0%	209	-	増収増益
日特建設	12,310	111.9%	287	235.2%	増収増益
合計	293,995	105.2%	11,900	104.1%	増収増益

＜土木工事業＞ 2019年度3月期第2四半期決算概況

■ 減収減益企業が増え、収益面で厳しい決算となる

第1四半期の決算では10社のうち6社が増収増益、減収減益は1社のみと好調でしたが、第2四半期は増収増益が3社、減収減益が4社となり、収益面で厳しい決算となりました（=図表2）。

増収増益から減収減益に転じた業界首位のNIPPOは、原材料価格上昇などの影響で、舗装土木事業や製品販売事業の利益率が低下したことを理由に、通期利益予想を下方修正しました。また、世紀東急工業は増収増益ではありましたが、売上高、利益ともに通期予想を下方修正しています。

一方、川田テクノロジーズは好調な第2四半期決算を受け、通期利益予想を上方修正しました。

【図表2 土木工事業主要10社2019年3月期の第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第2四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
NIPPO	173,032	96.7%	12,530	79.7%	減収減益
前田道路	98,138	93.9%	5,987	64.1%	減収減益
日本道路	63,340	109.9%	1,912	102.2%	増収増益
川田テクノロジーズ	55,542	110.5%	2,980	2365.1%	増収増益
東鉄工業	50,816	102.1%	3,569	80.7%	増収減益
ピーエス三菱	48,450	89.7%	1,643	68.4%	減収減益
ライト工業	45,847	99.7%	3,951	90.1%	減収減益
東亜道路工業	38,407	111.9%	-656	-	増収減益
世紀東急工業	29,680	100.2%	1,392	108.0%	増収増益
日特建設	26,638	102.2%	1,095	97.0%	増収減益
合計	629,890	99.8%	34,403	84.9%	減収減益

<土木工事業> 2019年度3月期第3四半期決算概況

■ 10社中7社が減益 道路舗装業各社が総じて厳しい決算に

10社中7社が減益となり、収益面で厳しい決算となっています（＝図表3）。第2四半期に減収減益となり通期の利益予想を下方修正した、道路舗装業界首位のNIPPOは第3四半期についても減収減益の決算が続いています。

道路舗装業界2位の前田道路も減収減益となり、通期業績予想を売上高、利益ともに下方修正したほか、増収減益の東亜道路工業も通期業績予想を売上高、利益ともに下方修正しました。第2四半期に売上高、利益ともに下方修正した世紀東急工業は減収減益に転じ、道路舗装業各社は総じて厳しい決算となりました。一方、鋼製橋梁、プレストレスト・コンクリート橋梁を主要分野とする川田テクノロジーズは増収増益となり、第2四半期に続いて通期の利益予想を上方修正しました。また、法面保護工事、斜面安定・防災工事、地盤改良工事などを中心に手掛けるライト工業や日特建設も増収増益となっています。

【図表3 土木工事業主要10社2019年3月期の第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第3四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
NIPPO	285,579	99.9%	25,249	89.8%	減収減益
前田道路	157,145	95.4%	10,435	65.6%	減収減益
日本道路	103,508	106.3%	4,748	92.9%	増収減益
川田テクノロジーズ	86,122	112.0%	5,020	227.3%	増収増益
東鉄工業	82,303	102.4%	7,227	92.2%	増収減益
ピーエス三菱	73,713	84.9%	3,586	68.8%	減収減益
ライト工業	73,210	102.2%	6,972	103.2%	増収増益
東亜道路工業	61,642	104.9%	566	33.3%	増収減益
世紀東急工業	47,411	89.6%	2,988	85.8%	減収減益
日特建設	44,550	102.2%	2,720	102.6%	増収増益
合計	1,015,183	99.6%	69,511	88.0%	減収減益

<土木工事業> 2019年度3月期決算概況

■ 10社中7社が増収も、利益面でやや苦戦

土木工事業主要10社の2019年3月期決算は、豊富な手持ち工事の消化が順調に進んで7社で増収となっていますが、増収増益となったのは日本道路、川田テクノロジーズ、ライト工業の3社にとどまっています（=図表4）。資材コストや人件費の高騰等の影響で、経常利益については6社が前期割れとなっており、利益面ではやや苦しい決算と言えます。

特に道路舗装大手5社（NIPPO、前田道路、日本道路、東亜道路工業、世紀東急工業）について見ると、日本道路以外の4社が減益、うち3社は2ケタ減と大幅な減益となっており、利益面での苦戦が特に目立ちました。

2020年3月期の業績予想については10社中8社が増収、うちNIPPO、前田道路、東鉄工業、東亜道路工業、ライト工業の5社が増収増益と予想しています。一方、利益面では減益予想が5社と、苦戦が続く企業もありそうです。

【図表4 土木工事業主要10社の2019年3月期（連結）の実績と2020年3月期の予想値】

企業名	2019年3月期					2020年3月期業績予想			
	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比	傾向	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比
NIPPO	413,236	102.2%	39,022	96.7%	増収減益	420,000	101.6%	40,000	102.5%
前田道路	223,757	95.5%	17,636	74.1%	減収減益	228,000	101.9%	19,100	108.3%
日本道路	146,294	104.0%	8,160	112.0%	増収増益	150,000	102.5%	8,100	99.3%
川田テクノロジーズ	118,369	110.4%	8,541	186.2%	増収増益	120,000	101.4%	5,800	67.9%
東鉄工業	134,739	102.7%	12,704	95.5%	増収減益	137,000	101.7%	13,000	102.3%
ピーエス三菱	110,279	96.0%	8,789	164.4%	減収増益	110,000	99.7%	3,500	39.8%
東亜道路工業	103,676	105.6%	3,728	89.1%	増収減益	108,000	104.2%	5,300	142.2%
ライト工業	102,825	102.7%	10,124	109.9%	増収増益	103,000	100.2%	10,300	101.7%
世紀東急工業	74,036	90.7%	5,584	89.5%	減収減益	78,200	105.6%	5,300	94.9%
日特建設	63,264	100.5%	4,004	97.2%	増収減益	61,500	97.2%	3,600	89.9%

2020年度3月期決算

<土木工事業> 2020年度3月期第1四半期決算概況

■ 10社中5社が増収増益、利益の改善も進む

道路舗装大手のNIPPO、前田道路、日本道路の3社が増収増益となるなど、10社中5社が増収増益となり、好調な決算になっています（=図表5）。利益面を見ると8社が増益であり、前年同四半期は赤字であったピース三菱と東亜道路工業が黒字に転換するなど、収益面での改善が進んでいます。前田道路、日本道路、世紀東急工業での特別利益の計上の影響もあり、10社合計の純利益は前年同期比で258.7%と、大幅に増加しています。

【図表5 土木工事業主要10社の2020年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第1四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
NIPPO	84,515	104.9%	4,094	87.4%	5,225	92.8%	3,440	105.4%	増収増益
前田道路	50,194	103.1%	2,325	98.5%	2,643	98.1%	8,219	450.6%	増収増益
日本道路	31,104	100.0%	495	82.8%	699	101.2%	2,094	558.4%	増収増益
川田テクノロジーズ	26,783	102.1%	-1,130	-	-264	-	50	5.9%	増収減益
東鉄工業	23,194	111.1%	1,348	284.4%	1,532	233.2%	998	225.8%	増収増益
ピース三菱	21,923	98.5%	880	-	867	-	524	-	減収増益
ライト工業	21,766	104.5%	1,360	81.6%	1,443	83.2%	992	82.9%	増収減益
東亜道路工業	16,876	94.3%	-852	-	-837	-	446	-	減収増益
世紀東急工業	13,150	99.2%	123	58.6%	121	57.9%	1,521	921.8%	減収増益
日特建設	13,330	108.3%	540	194.9%	539	187.8%	333	225.0%	増収増益
合計	302,835	103.0%	9,183	95.5%	11,968	100.6%	18,617	258.7%	増収増益

<土木工事業> 2020年度3月期第2四半期決算概況

■ 10社中9社が増収、うち8社が増収増益、特に利益面での改善が顕著

10社中9社が増収、うち8社が増収増益となり、非常に好調な決算になっています（=図表6）。道路舗装大手5社のNIPPO、前田道路、日本道路、東亜道路工業、世紀東急工業はすべて増収増益となりました。また、基礎・地盤改良・法面など特殊土木を専門とするライト工業、不動テトラの2社も、自然災害からの復旧工事や官公庁発注の斜面・法面对策工事の増加により増収増益となっています。利益面を見ると、前田道路が前年同期比202.6%増、日本道路が同170.3%増、ライト工業が同130.5%増など、大幅増となっており、利益面での改善が顕著になっています。

【図表6 土木工事業主要10社の2020年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第2四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
NIPPO	190,022	9.8%	12,287	9.0%	13,478	7.6%	7,955	5.0%	増収増益
前田道路	108,703	10.8%	7,737	38.8%	8,099	35.3%	11,705	202.6%	増収増益
日本道路	66,307	4.7%	1,947	18.4%	2,209	15.5%	3,052	170.3%	増収増益
川田テクノロジーズ	61,007	9.8%	726	-52.1%	1,949	-34.6%	1,705	-27.4%	増収減益
東鉄工業	55,721	9.7%	4,237	26.3%	4,522	26.7%	3,041	23.3%	増収増益
ライト工業	48,000	4.7%	3,698	-2.4%	3,990	1.0%	2,835	3.7%	増収増益
ピーエス三菱	47,758	-1.4%	2,289	34.3%	2,249	36.9%	1,470	27.9%	減収増益
東亜道路工業	41,047	6.9%	-38	-	39	-	975	-	増収増益
不動テトラ	33,361	4.6%	2,332	22.9%	2,332	19.3%	1,609	19.9%	増収増益
世紀東急工業	31,139	4.9%	1,438	3.5%	1,433	2.9%	2,625	130.5%	増収増益
合計	683,065	7.5%	36,653	16.7%	40,300	14.3%	36,972	59.4%	増収増益

<土木工事業> 2020年度3月期第3四半期決算概況

■ 6社が増収増益で、特に収益性の向上が顕著

全10社が増収、うち6社が増収増益となり、好調な決算が続いています（=図表7）。道路舗装大手5社を見ると、業界トップのNIPPOが減益となりましたが、前田道路、日本道路、東亜道路工業、世紀東急工業の4社は増収増益となりました。特に純利益は、前田道路が前年同期比131.0%増、日本道路が同68.4%増、東亜道路工業が同929.6%増、世紀東急工業が同59.5%増と4社ともに大幅に伸びており、収益性の向上が顕著です。

また、通期業績予想を見ると、川田テクノロジーズ、ライト工業、世紀東急工業の3社が経常利益を上方修正しており、業界全体において収益性の向上が進んでいることが分かります。

【図表7 土木工事業主要10社の2020年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第3四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
NIPPO	296,092	3.7%	22,108	-6.4%	24,085	-4.6%	14,575	-8.9%	増収減益
前田道路	168,230	7.1%	12,967	30.3%	13,496	29.3%	15,304	131.0%	増収増益
日本道路	105,923	2.3%	4,612	4.4%	5,077	6.9%	5,012	68.4%	増収増益
川田テクノロジーズ	91,805	6.6%	3,122	-7.1%	4,427	-11.8%	3,520	-14.5%	増収減益
東鉄工業	88,181	7.1%	7,849	15.2%	8,287	14.7%	5,745	14.1%	増収増益
ピーエス三菱	74,788	1.5%	3,860	5.0%	3,840	7.1%	2,677	-4.4%	増収減益
東亜道路工業	67,195	9.0%	1,603	240.7%	1,710	201.9%	1,989	929.6%	増収増益
ライト工業	74,810	2.2%	6,589	-3.4%	6,164	-11.6%	4,017	-15.3%	増収減益
世紀東急工業	50,959	7.5%	3,188	6.8%	3,191	6.8%	4,115	59.5%	増収増益
不動テトラ	51,754	8.3%	3,628	38.3%	3,628	35.3%	2,484	36.3%	増収増益
合計	1,069,737	5.0%	69,526	7.4%	73,905	6.4%	59,438	26.7%	増収増益

<土木工事業> 2020年度3月期決算概況

■ 8社が増収増益となり好調な決算、21年3月期についても比較的落ち込みは小さい

売上高は9社が前年を上回り、8社が増収増益となっています（=図表8）。10社合計の売上高は前期比5.0%増、営業利益は同2.8%増、経常利益は同2.5%増、純利益は同14.0%増となっており、土木工事業界は非常に好調な決算となっています。

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を織り込まない予想を発表した4社（NIPPO、日本道路、東洋建設、ピーエス三菱）では売上高が前期を上回る予想となっています（=図表9）。影響を織り込み済みの数値を発表した4社（大豊建設、川田テクノロジーズ、飛鳥建設、東亜道路工業）は前期割れの売上高予想となっていますが、総合工事業ほどの落ち込みにはなっていません。

売上の中心となる公共投資による土木工事が堅調に推移すると見られていることから、2021年3月期についても土木工事業の落ち込みは、他業種に比べ比較的小さくなるのではないかと考えられます。

【図表8 総合工事業主要10社の2020年3月期（連結）の実績】

企業名	2020年3月期								傾向
	売上高 (百万円)	前年同期 増減率	営業利益 (百万円)	前年同期 増減率	経常利益 (百万円)	前年同期 増減率	純利益 (百万円)	前年同期 増減率	
NIPPO	429,066	3.8%	36,227	-6.3%	38,226	-2.0%	23,594	-7.5%	増収減益
前田道路	237,812	6.3%	19,575	14.3%	19,877	12.7%	18,826	64.0%	増収増益
東亜建設工業	190,278	9.5%	7,957	99.9%	7,604	92.8%	5,007	63.0%	増収増益
東洋建設	174,805	6.7%	9,268	18.6%	9,168	13.6%	5,766	5.9%	増収増益
大豊建設	162,811	8.0%	8,511	-7.1%	8,578	-6.7%	6,647	8.2%	増収増益
日本道路	148,699	1.6%	7,515	-3.2%	7,853	-3.8%	6,792	49.3%	増収増益
飛鳥建設	134,859	4.7%	7,848	8.7%	7,382	5.2%	5,109	0.7%	増収増益
川田テクノロジーズ	127,048	7.3%	6,759	11.4%	8,543	0.0%	6,449	6.4%	増収増益
東亜道路工業	109,123	5.3%	4,753	30.1%	4,869	30.6%	4,116	-	増収増益
ピーエス三菱	105,744	-4.1%	4,881	-44.2%	4,897	-44.3%	3,214	-59.4%	減収減益
合計	1,820,245	5.0%	113,294	2.8%	116,997	2.5%	85,520	14.0%	増収増益

【図表9 総合工事業主要10社の2021年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2021年3月期の業績予想					
	売上高	前期比	営業利益	前期比	純利益	前期比
NIPPO	440,000	2.5%	41,000	13.2%	28,000	18.7%
前田道路			-			
東亜建設工業			-			
東洋建設	175,000	0.1%	8,100	-12.6%	5,000	-13.3%
大豊建設	160,000	-1.7%	9,000	5.7%	6,000	-9.7%
日本道路	151,000	1.5%	8,000	6.5%	5,400	-20.5%
飛鳥建設	133,000	-1.4%	5,800	-26.1%	3,300	-35.4%
川田テクノロジーズ	115,000	-9.5%	3,500	-48.2%	2,500	-61.2%
東亜道路工業	105,000	-3.8%	4,500	-5.3%	3,000	-27.1%
ピーエス三菱	116,000	9.7%	4,200	-14.0%	2,800	-12.9%

2021年度3月期決算

<土木工事業> 2021年度3月期第1四半期決算概況

■ 6社が増収、10社合計でも増収増益となり好調な決算

売上高は6社が前年同期を上回り、このうち4社は増収・純増益となっています（=図表10）。10社合計を見ると、売上高は前年同期比2.8%増、営業利益が同127.6%増、経常利益が同106.7%増、純利益が同7.8%増となっており、前年同期を上回る高い水準となりました。

【図表10 土木工事業主要10社の2021年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第1四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
NIPPO	94,576	11.9%	12,099	195.5%	12,914	147.1%	8,410	144.5%	増収増益
前田道路	50,250	0.1%	4,489	93.0%	4,821	82.4%	4,535	-44.8%	増収減益
東亜建設工業	37,289	-3.5%	1,220	-7.2%	1,321	8.8%	862	57.8%	減収増益
東洋建設	34,430	-11.3%	1,548	-30.8%	1,471	-30.5%	895	-35.1%	減収減益
大豊建設	34,015	1.7%	746	2.5%	836	22.8%	508	23.6%	増収増益
日本道路	33,807	8.7%	1,888	281.4%	2,166	209.9%	1,407	-32.8%	増収減益
川田テクノロジーズ	30,222	12.8%	369	-	1,047	-	854	1608.0%	増収増益
飛鳥建設	27,891	-2.8%	831	42.4%	817	64.5%	571	81.9%	減収増益
東亜道路工業	16,163	-4.2%	7	-	54	-	-14	-	減収減益
ピーエス三菱	22,630	3.2%	1,092	24.1%	1,095	26.2%	747	42.6%	増収増益
合計	381,273	2.8%	24,289	127.6%	26,542	106.7%	18,775	7.8%	増収増益

※「-」は前期実績がマイナス

※川田テクノロジーズの純利益の増減率は、1000%を超えているため「-」と表記

<土木工事業> 2021年度3月期第2四半期決算概況

■ 4社が増収、2社が増収増益、10社合計ではわずかながら減収減益に転じた

売上高は4社が前年同四半期を上回り、NIPPOとピーエス三菱の2社が増収増益となっています（＝図表11）。10社合計を見ると、売上高は前年同四半期比1.9%減（第1四半期は2.8%増）、純利益が同1.0%減（第1四半期は7.8%増）と減収減益に転じました。純利益では道路舗装業界トップのNIPPOが前年同四半期比74.7%増と大幅な増加となっており、業界をけん引しています。

【図表11 土木工事業主要10社の2021年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第2四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
NIPPO	192,750	1.4%	20,643	68.0%	21,457	59.2%	13,896	74.7%	増収増益
前田道路	104,116	-4.2%	9,375	21.2%	9,721	20.0%	7,953	-32.1%	減収減益
東亜建設工業	82,639	-1.5%	3,294	-6.2%	3,765	14.8%	2,443	22.0%	減収増益
東洋建設	75,853	-12.2%	4,044	-16.7%	3,766	-20.8%	2,358	-22.5%	減収減益
大豊建設	74,993	3.6%	2,508	-16.9%	2,516	-15.2%	1,591	-14.8%	増収減益
日本道路	70,411	6.2%	3,904	100.5%	4,184	89.4%	2,694	-11.7%	増収減益
飛鳥建設	58,576	-8.6%	1,907	-38.3%	1,694	-41.7%	1,138	-40.6%	減収減益
川田テクノロジーズ	56,067	-8.1%	-1,340	-	534	-72.6%	833	-51.1%	減収減益
ピーエス三菱	51,883	8.6%	2,879	25.8%	2,849	26.7%	1,844	25.4%	増収増益
東亜道路工業	38,969	-5.1%	963	-	1,045	-	597	-38.8%	減収減益
合計	806,257	-1.9%	48,177	22.2%	51,531	22.9%	35,347	-1.0%	減収減益

<土木工事業> 2021年度3月期第3四半期決算概況

■ 3社が増収増益、主要各社合計では純利益が前年同四半期比10%増となる

NIPPO、日本道路、ピーエス三菱の3社が増収増益となっています（=図表12）。9社合計（*大豊建設は本レポート執筆時点で第3四半期の決算が未発表）を見ると、売上高は前年同四半期比▲0.4%（第2四半期は▲1.9%）、純利益が同10%増（同▲1.0%）と増益に転じました。売上高についてもわずかな減少であり、業界全体として堅調な決算だと言えます。

【図表12 土木工事業主要10社の2021年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第3四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	傾向
NIPPO	304,715	2.9%	32,351	46.3%	33,539	39.3%	21,837	49.8%	増収増益
前田道路	166,812	-0.8%	15,766	21.6%	16,178	19.9%	12,766	-16.6%	減収減益
東亜建設工業	132,909	-0.6%	6,738	6.3%	7,034	12.2%	4,460	11.0%	減収増益
東洋建設	123,756	-7.0%	8,922	18.0%	8,623	15.4%	5,698	18.6%	減収増益
大豊建設	未発表								
日本道路	114,692	8.3%	8,059	74.7%	8,498	67.4%	5,672	13.2%	増収増益
飛鳥建設	87,293	-11.3%	2,673	-47.4%	2,390	-50.3%	1,600	-50.2%	減収減益
川田テクノロジーズ	85,880	-6.5%	347	-88.9%	2,350	-46.9%	2,169	-38.4%	減収減益
ピーエス三菱	83,729	12.0%	6,639	72.0%	6,660	73.4%	4,470	66.9%	増収増益
東亜道路工業	65,254	-2.9%	3,040	89.6%	3,119	82.4%	1,954	-1.8%	減収減益
合計	1,165,040	-0.4%	84,535	25.7%	88,391	24.2%	60,626	10.0%	減収増益

※大豊建設は調査時点で第3四半期の決算が未発表

<土木工事業> 2021年度3月期決算概況

■ 9社が減収減益、主要10社合計で純利益15.2%減と厳しい決算

2021年3月期の決算は10社中9社が減収減益と厳しい決算になりました（=図表13）。ゼネコン大手4社のうち鹿島建設を除く3社は売上高、純利益ともに前期比で2桁減となっています。主要10社合計でも売上高が同9.8%減、営業利益は同15.2%減、経常利益は同15.7%減、純利益は同15.2%減となっており、東京オリンピック・パラリンピック関連の需要が一段落し建設市場が端境期を迎えたことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、総合工事業の業績は低迷しました。

【図表13 土木工事業主要10社の2021年3月期（連結）の実績】

企業名	2021年3月期								傾向
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益 (百万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率	
鹿島建設	1,907,176	-5.2%	127,298	-3.6%	139,729	-4.7%	98,522	-4.6%	減収減益
大林組	1,766,893	-14.8%	123,161	-19.4%	128,784	-19.0%	98,780	-12.7%	減収減益
大成建設	1,480,141	-15.5%	130,516	-22.2%	135,937	-21.6%	92,554	-24.2%	減収減益
清水建設	1,456,473	-14.2%	100,151	-25.2%	105,465	-23.6%	77,176	-22.0%	減収減益
長谷工コーポレーション	809,438	-4.3%	72,909	-15.1%	71,832	-15.7%	48,258	-19.4%	減収減益
前田建設工業	678,059	39.0%	46,343	36.1%	45,665	24.8%	23,275	62.3%	増収増益
戸田建設	507,134	-2.2%	27,697	-21.4%	30,363	-20.7%	19,735	-23.6%	減収減益
五洋建設	471,058	-17.9%	30,460	-8.1%	30,545	-6.1%	20,993	-10.1%	減収減益
三井住友建設	421,619	-10.7%	15,584	-37.1%	13,063	-45.3%	8,743	-43.8%	減収減益
フジタ(単体)	379,240	-27.2%	12,206	23.5%	8,866	3.6%	5,579	-7.2%	減収減益
合計	9,877,231	-9.8%	686,325	-15.2%	710,249	-15.7%	493,615	-15.2%	減収減益

*「収益認識に関する会計基準」などを適用するため業績予想の対前期増減率を公表していない三井住友不動産についても単純計算で対前期増減率を記載している

■ 10社合計の売上高予想は6.5%増となるも純利益は18.5%減と減益予想

2022年3月期の業績予想は10社すべてが増収としており、売上高は底堅く推移すると考えられています（=図表14）。ただし、営業利益、経常利益、純利益は6社が減少すると予想しています。10社合計でも営業利益は前期比16.2%減、経常利益は同17.4%減、純利益は同18.5%減となっており、厳しい受注環境を背景に利益率は低下するとの見方がされています。

【図表14 総合工事業主要10社の2022年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2022年3月期の業績予想							
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益 (百万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率
鹿島建設	2,010,000	5.4%	104,000	-18.3%	114,000	-18.4%	80,000	-18.8%
大林組	1,910,000	8.1%	95,000	-22.9%	98,500	-23.5%	71,500	-27.6%
大成建設	1,640,000	10.8%	90,000	-31.0%	93,000	-31.6%	63,000	-31.9%
清水建設	1,550,000	6.4%	76,500	-23.6%	77,000	-27.0%	58,000	-24.8%
長谷工コーポレーション	850,000	5.0%	78,000	7.0%	75,000	4.4%	51,000	5.7%
前田建設工業	714,400	5.4%	46,700	0.8%	46,000	0.7%	23,500	1.0%
戸田建設	515,000	1.6%	23,600	-14.8%	25,700	-15.4%	16,900	-14.4%
五洋建設	491,000	4.2%	29,000	-4.8%	28,500	-6.7%	20,000	-4.7%
三井住友建設	432,000	2.5%	18,500	18.7%	16,000	22.5%	10,000	14.4%
フジタ(単体)	405,000	6.8%	14,100	15.5%	12,700	43.2%	8,500	52.4%
合計	10,517,400	6.5%	575,400	-16.2%	586,400	-17.4%	402,400	-18.5%

<お問い合わせ先>

ヒューマンリソシア株式会社

「建設HR」編集部 E-mail : hrouken@athuman.com

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア1階

URL : <https://kensetsu-hr.resocia.jp/>